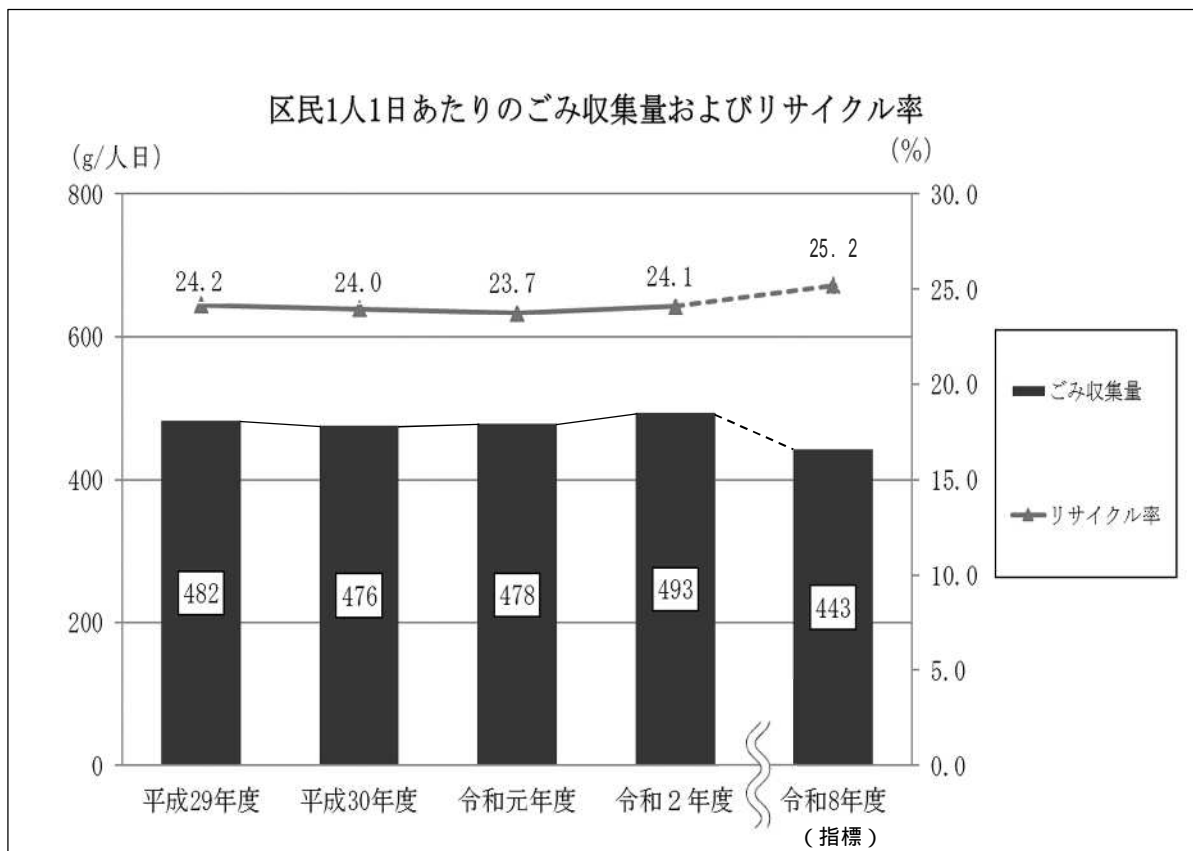


令和2年度練馬区第4次一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について

区は、ごみ減量と資源リサイクルの状況を把握するため、年度ごとに、練馬区第4次一般廃棄物処理基本計画（計画期間：平成29年度から令和8年度）の各取組結果を公表しています。

1 区民1人1日あたりのごみ収集量とリサイクル率の評価

指標名	令和元年度	令和2年度	前年度との差	令和8年度指標	指標までの差
区民1人1日あたりのごみ収集量	478 g	493 g	15 g	443 g 以下	50 g（減らす）
リサイクル率	23.7%	24.1%	0.4%	25.2%以上	1.1ポイント（上げる）

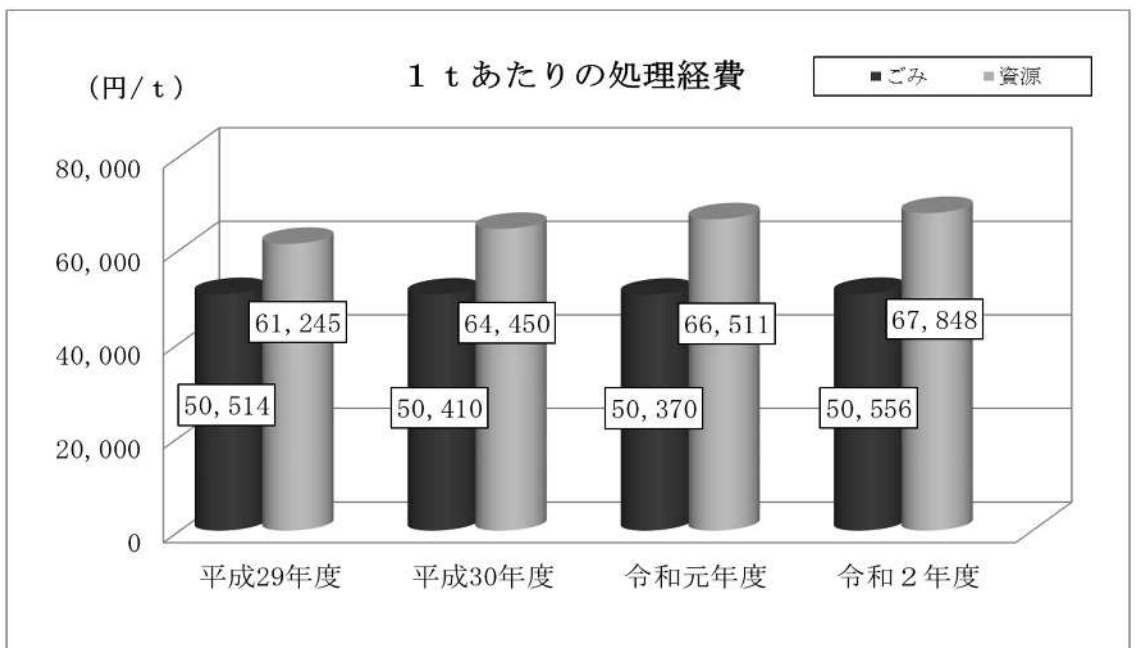
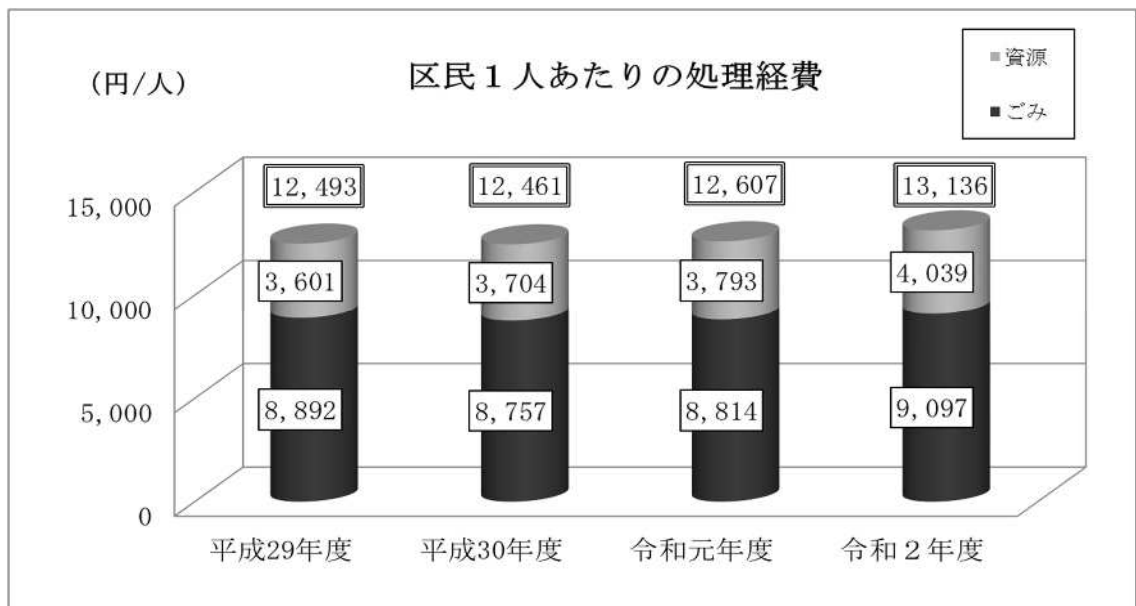


2 各取組の進捗状況

別紙のとおり

【参考】資源・ごみの処理経費

		令和元年度	令和2年度	前年度との差
区民1人あたりの 処理経費 (円/人)	資源	3,793	4,039	246
	ごみ	8,814	9,097	283
1tあたりの 処理経費 (円/t)	資源	66,511	67,848	1,337
	ごみ	50,370	50,556	186



1 重点取組（5項目）

基本方針	ごみの発生抑制・再使用の促進
施策1	ごみの発生抑制
取組1	食品ロスの削減【重点】
	<p>区ホームページや区役所本庁舎アトリウムでのパネル展示を通じて賞味期限と消費期限の違いを周知した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、エコクッキング教室を開催した。</p> <p>毎年フードドライブ事業を実施し必要とする福祉施設等に提供していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベントが中止になった。</p> <p>食品ロス削減に取り組む区内飲食店を登録し、その取組を紹介する「おいしく完食協力店」制度を区ホームページで周知した。</p>
基本方針	多様な資源循環の推進
施策5	区が進める資源回収の推進
取組9	不燃ごみの資源化【重点】
	<p>練馬区資源循環センター拡張整備に係る実施設計が完了し、令和3年1月から工事に着手した。</p> <p>回収した蛍光管を資源循環センターへ搬入し、破砕処理後、資源化事業者引き渡し、資源化を実施した。</p> <p>令和2年4月から小型家電回収の回収品目を9から13に拡大した。</p>
基本方針	適正処理の推進
施策6	排出ルール徹底
取組12	紙類やびんなどの資源とごみの分別の周知徹底【重点】
	<p>「練馬区資源・ごみの分け方と出し方」、区ホームページおよび「資源・ごみ分別アプリ」で分別と排出方法について周知した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、資源やごみの分別ルールの徹底のため、青空集会を実施した。</p> <p><青空集会 32回開催（参加人数 630人）></p> <p>分別されていないごみや分別の異なるごみに警告シールを貼付し、適正な排出を促した。</p>
施策7	事業者の自己処理責任の徹底
取組15	区収集による事業系ごみ排出事業者に対する指導【重点】
	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、小中規模事業者に対し、昼間の排出調査および指導を行った。</p> <p><直接指導 昼間 148か所> <ピラ指導 昼間 462か所></p> <p>1回の排出量が30キログラム以上の排出事業者に対し、一般廃棄物処理業の許可事業者による収集とするよう指導した。</p> <p>有料ごみ処理券を未貼付で排出している事業者に対し、適正排出するよう直接指導をした。</p>
施策8	資源・ごみの収集運搬と適正処理・処分
取組17	災害廃棄物処理計画の策定【重点】
	<p>発災後、速やかに災害廃棄物処理実行計画を策定できるよう、準備を行った。</p> <p>震災総合訓練において、避難拠点における災害時のごみ集積所の設置場所の確認を行った。</p>

2 その他の取組（15項目）

基本方針	ごみの発生抑制・再使用の促進
施策1	ごみの発生抑制
取組2	生ごみの発生抑制・資源化
	<p>「練馬区資源・ごみの分け方と出し方」や区ホームページ等で生ごみの減量について周知した。</p> <p>区役所本庁舎アトリウムでのパネル展示で生ごみの水切りの取組を周知した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、リサイクルセンターで生ごみ堆肥作り等の講座や、近隣小学校への出前講座を実施した。</p> <p>平成29年3月に対象機器を拡大した生ごみ処理機等助成について、イベント等で事業周知を行った。</p> <p>< 購入費助成 家庭用生ごみ処理機 275件、コンポスト化容器 44件 > < 生ごみコンポスト化容器あっせん 5件 ></p>
取組3	販売店や商店会等との連携
	<p>プラスチックとのかかわり方についての啓発用ホームページを新設し、「資源・ごみ分別アプリ」のお知らせ機能を活用して、啓発メッセージを発信した。</p> <p>毎年、区内の商店会と協力し練馬つつじフェスタに参加していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、イベントが中止になった。</p>
取組4	区立施設でのごみの発生抑制
	<p>ごみ発生抑制のため、区立施設職員からの個別相談に応じた。</p> <p>練馬区環境管理実行計画に基づき、区立施設での廃棄物の削減等に取り組んだ。</p> <p>< 廃棄物排出量 2,305 t ></p> <p>毎年、小中学校の栄養士に対し、生ごみ減量に向けた事業説明を実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止になった。</p>
施策2	再使用の促進
取組5	不用家具等の再使用
	<p>区内4か所のリサイクルセンターで、再利用家具等の展示・販売を行った。</p> <p>< 展示 6,470点、販売 6,482点 ></p> <p>区立施設16か所で大型生活用品リサイクル情報掲示板を掲出した。</p> <p>< 譲ります 172件（成立件数78件）、譲ってください 14件（成立件数1件） ></p> <p>リサイクルセンターにおける再生品の展示や、「ゆずりは」での情報提供を行った。</p>

基本方針	多様な資源循環の推進
施策3	区民が進める資源回収の促進
取組6	集団回収事業への参加促進
	<p>集団回収実施団体を増やすため、地域への周知を積極的に行った。また、既存団体に対し地域懇談会を行う予定だったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止になった。</p> <p>区内登録業者と契約して資源回収を行った団体に、回収量に10%分を加算したうえで報奨金を支出した。</p> <p>< 区内登録業者利用団体（1月から6月） 526団体（3,970 t 回収） > < （7月から12月） 512団体（3,603 t 回収） ></p>

施策4 事業者が進める資源回収の促進
取組7 事業系ごみの資源化の促進
<p>毎年、延床面積1,000㎡以上の事業用大規模建築物に対し、廃棄物管理責任者講習会を実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を中止とした。</p> <p>商店街オフィスリサイクル事業を継続して実施した。</p>
取組8 事業者回収の利用促進
<p>容器包装リサイクル法次期見直しについて、拡大生産者責任の原則に基づき、事業者が応分の中間処理経費を負担する制度に改正するよう、全国市長会として国・都へ要望した。</p> <p>「練馬区資源・ごみの分け方と出し方」等において、店頭回収ができる品目を案内し、利用を呼びかけた。</p> <p>< 乾電池の店頭回収 50店 (66 t 回収) ></p>
施策5 区が進める資源回収の推進
取組10 資源回収体制の充実
<p>資源回収事業における回収方法などの検討を行った。</p>
取組11 区立施設での再生利用の推進
<p>区立施設において古紙や生ごみの資源化を継続して行った。</p> <p>< 資源回収量 本庁舎 338,673kg、その他区立施設 637,769kg ></p> <p>< 生ごみ資源化 投入量 822 t (練馬の大地出荷量 344 t) ></p>

基本方針 適正処理の推進
施策6 排出ルールの徹底
取組13 不法行為の抑制
<p>不法投棄警告看板の配布を行い、安全安心パトロールと連携した。</p> <p>< 不法投棄警告看板配布 299枚、不法投棄物収集 3,129件 ></p> <p>青色回転灯を装備した清掃事務所所有車両によるパトロールを実施した。</p>
施策7 事業者の自己処理責任の徹底
取組14 持込による事業系ごみ排出事業者に対する指導
<p>毎年、延床面積1,000㎡以上の事業用大規模建築物に対し、立入調査・指導を実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を中止とした。</p> <p>収集運搬業の許可事業者に対し、許可更新時に立入検査を行い、分別徹底を働きかけた。</p>
施策8 資源・ごみの収集運搬と適正処理・処分
取組16 効率的な資源・ごみの収集運搬体制の構築
<p>適切な作業計画をもとに資源・ごみの収集運搬を行った。</p> <p>練馬区環境まちづくり公社に、可・不燃ごみの収集の一部、容器包装プラスチックの回収および粗大ごみの収集を委託し、効率的な収集運搬を行った。令和2年度は、可燃ごみの収集業務の委託について、令和3年度からの5組拡大に向けて準備を行った。</p> <p>資源の中間処理委託業者の施設へ赴き、適正に処理されているか確認した。</p>

基本方針	情報発信および参画・連携体制の充実
施策9	普及啓発や環境教育の推進
取組18	広報・PR活動、環境学習の充実
	<p>毎年、照姫まつりやねりまエコスタイルフェアなどのイベントにおいて、清掃リサイクル事業の紹介や分別ルールの周知など啓発活動を実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各イベントが中止になった。</p> <p>毎年、区内4か所のリサイクルセンターと資源循環センターにおいて、環境・リサイクルに関する各種講座や出前講座などを実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止になった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、区立小学校4年生や区立保育園・幼稚園園児等を対象に、ふれあい環境学習を実施した。 <ふれあい環境学習 46回(参加人数 3,557人)></p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、町会・自治会等で構成される「練馬区環境清掃推進連絡会」と協働して、区内一斉清掃を実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策としてのごみ・資源の出し方について、区ホームページおよび区報で周知した。</p> <p>「資源・ごみ分別アプリ」で、分別と排出方法について周知した。 <令和2年度末時点での累計ダウンロード数 15,434件></p>
施策10	区民・事業者との協働
取組19	区民活動への支援の充実
	<p>リサイクル・マーケット主催団体に対し、区立公園の使用許可や活動用品の貸与、区報への掲載等の支援を行った。</p> <p>区民に対し、集団回収登録団体やリサイクル・マーケット実施団体の紹介を行った。</p>
取組20	事業者活動の活性化への支援
	<p>毎年度提出される事業用大規模建築物における再利用計画書や立入調査をもとに、清掃事務所と優良事例の案内方法や事業者に対する表彰方法について検討を行った。</p>